

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	児童発達支援事業所 ニーニヨ&ニーニヤ				
事業所番号	4650004130				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市清和 2 丁目 1 7 番 2 5 号				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択) ホームページ ↓ 2 にURLを記載
	2. 内容 keiseikai@tulip.ocn.ne.jp
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	益山 麻未
連絡先 (TEL)	099-210-2022

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ニーニョ&ニーニャ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 9日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 9日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活体験を通して、お子様の経験値を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング活動毎月実施 ・動物とのふれあいやおまつりイベント等実施。 ・お買い物体験、公共の乗り物乗車体験実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキング活動は毎月1回の実施で、登園でないお子様が参加できない為、毎月実施する回数を増やす。 ・イベント時、地域の方と交流できる内容の充実を図る。 ・ご家庭からのご要望も伺い、中々、ご家庭ではできない体験内容を構築し実施する。
2	専門職との連携を図り、個別に合わせた支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士、理学療法士、歯科衛生士との連携。 ・行動分析（ABA）の視点でのアドバイス等をもとに日々の支援に活かす事ができております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の行事予定表に提示し、保護者様から相談しやすい環境作りを構築。 ・専門職からのアドバイスを保護者様や併用先と共有する事で、ご家庭や併用先と連携した支援を行います。
3	他事業所交流を通して、社会性を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・同施設内の放課後等デイサービス、就労やグループホームの方と行事を通して交流を行っております。 ・運動会では、法人内の事業所が集まり、普段関わりのないお子様同士の触れ合う機会を設けております。 ・様々な人との交流を楽しめるよう、イベントや公共の乗り物貸切体験など、他事業所と一緒にしております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の行事の広報等充実し、より多くの地域の方との交流を深めています。 ・ご家族様や兄弟児様にもご参加いただける内容を増やしお子様のよりよい経験に繋げてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士が気軽に交流できる機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会など実施しているが、お仕事などでご参加できない方への交流の場を作る工夫が必要であった。 ・本年度、定期的なイベント実施はできたが、イベント時にも保護者様が交流できる場を設ける事ができれば良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会や親子療育などお仕事を参加が難しいご家族様には、紙面上やSNSを使ったやりとりを通して、保護者様が交流できる場所がないか検討する。 ・イベント実施時は、カフェコーナーなど作り、保護者様同士が語らえる場所作りも検討する。
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流やその他地域で他の子どもと活動する機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方向けのイベント実施（動物ふれあい、夏祭り、ハロウィンパーティー、やぎふれあい）を行ってきたが、地域の方のこのこどもの触れ合いにはまだ至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人との関わりが個々の社会性に繋がる経験となるよう、イベントの中で、地域のこどもと触れ合える交流の場となるような内容を構築していく。
3	専門職との日程調整。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からのご要望に対して、専門職との日程調整に時間を要する事があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からのご要望に合わせて、専門職が訪問できない時も、情報共有（文面や動画等）を通して専門職からのアドバイスをいただき、お子様への支援やご家庭との連携を図る。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ニーニョ&ニーニャ		公表日		令和 8年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		気候の良い日は、公園等へ行き、十分に身体を動かせるよう努めております。	活動や状況によっては、スペースを区切る等してお子様安心して過ごせるよう努めてまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		お子様の発達に応じて、専門職に見ていただく機会も設けております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		写真などを使い、お子様が使いやすい空間を工夫しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		感染対策も含めて、毎日2回、清掃、消毒を行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様の情緒面に配慮し、別室にて個別対応を行うなど、お子様が安心して過ごせる環境に努めております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月の職員会議および、随時、業務改善が必要な所は職員で協議して改善に努めております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回保護者様向け評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見を事業所間で共有し業務改善に活かしております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務前、業務終了後に話し合いの場を設け、必要に応じて、職員全員で共有し業務改善に繋げております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今年度は行っておりませんが、法人として検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部講師によるABA勉強会及び、療育研究会にて、事例検討を行い、支援の質の向上を図っております。	保護者様から要望のある、言葉面の資格取得も目指してまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者様からモニタリング、アセスメントを行った情報を職員で共有後、計画案作成し保護者様、職員との検討会議を経て本計画とする流れで作成しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に事業所の全職員でアセスメント(検討会議)を実施した上で、児童発達支援計画を作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		検討会議計を職員や保護者様と作成し、お子様の支援について共有しております。また、計画の変更があった際も随時共有を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子様の適応行動の状況において、職員間で共有し、支援に繋げております。日々の行動観察は連絡帳にて記録し、保護者様、職員とも共有しております。	特定のアセスメントツールの使用はない為、今後、検討してまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達ガイドライン(5領域)に基づき具体的な支援内容を設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムにおいて、活動によって分担で検討後、チームで話し合い作成しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動内容が固定されないよう、立案者を毎月交替で検討し、その後、チームで話し合っております。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状況に合わせて、個別で関わりを持ちながら、小集団の活動に参加ができるよう、支援計画も作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。勤務時間上、話し合いの難しい場合は、連絡ツール等を使っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		支援終了後、職員間で振り返りを行い、気づいた点等の共有を行っております。勤務時間上、振り返りの時間確保が難しい場合は、翌日に話し合いを行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		お子様の日々の支援記録につきまして、電子連絡帳に記載しております。職員で内容を共有し、支援の検証、改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		更新時期にモニタリングを実施しております。また、お子様の達成状況に応じて、見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者をはじめ、お子様の状況をよく理解している保育士や児童指導員が参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連絡会にて、南部保健センターの方がご出席されていたり、幼保連絡会や小学校連絡会を通して、関係機関と連携を図っております。	
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併用先の幼稚園、保育園の先生と情報共有を念に2回行っております。就学前には、就学先の学校と連絡会を行い、情報共有、相互理解に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前に小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と相互理解を図ることができるよう努めております。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		同法人内に児童発達支援センターがあり、連絡会内での情報共有や、お子様の発達状況に応じて併用されるなど、助言をいただいております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			交流の機会はありませんでしたが、今後、イベントへのご参加も兼ねて交流する場を設ける等、検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		電子連絡帳以外にも、保護者様からのご要望に応じて面談等を実施しております。保護者様との共通理解を通して支援に努めております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアレントトレーニングを実施する事ができませんでしたが、ABA研修等ご家族様にもご参加いただけるような内容を今後も検討してまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		年2回、支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からご相談いただいた際は、面談やお電話にてすぐに対応させていただき共に、専門職へも繋ぎ、ご家庭と連携したお子様の支援に努めております。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	毎月1～2回の親子療育と年に2回の家族会を行う中で懇談会を通して、保護者様交流の場を設けております。園外活動の親子療育ではご兄妹様も一緒に参加していただき、交流する機会を設ける事ができました。	イベント実施時に、保護者様やご兄妹様と交流できる場を設ける事を努めてまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋げられるよう動いてまいります。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	毎月1回行事予定表にて活動内容等をお知らせしております。また随時広報誌やブログを更新し活動風景を発信しております。	今後、Instagramで、活動風景などの内容を発信してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報情報は書庫にて施錠して保管しております。また、写真の掲載については保護者間の同意を得たうえで掲載しております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	お子様には絵カードの視覚的支援を、保護者様には連絡帳等わかりやすく記載し、お伝えできるよう工夫しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	夏祭りや移動動物園、ハロウィンイベント、野菜イベント等地域に開かれた行事を行い、多くの方にご参加いただき喜んでいただきました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	緊急時対応マニュアル等各種マニュアルを整備しております。	ご家族様へご確認いただけるようなツールを検討してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPを作成し、随時変更があれば更新しております。毎月1回、地震、火災、不審者対策等の避難訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	新規面談時にアレルギーについて聞き取りを行い、必要なお子様には医師の指示書をいただき栄養士とも共有し個別対応を行っております。変更があった際にも解除届を提出していただいております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、職員会議の中で、研修や訓練を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		BCP等はご家族へ向けて掲示していますが、取組内容の周知方法を今後検討してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	毎週ヒヤリハットを所長会議資料に記載し、他部署とも共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	毎月1回虐待防止委員会を開催し共有しております。法人内の全体研修時にも虐待について取り上げております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいません。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童支援計画書に記載しております。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニーニヨ&ニーニヤ

公表日 令和 8 年 2 月 27 日

利用児童数

登録人数18名

回収数 13名分

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2		1	利用人数が多いと、せまいと感じる時もある。	活動やお子様の状況によっては、スペースを区切る等して、お子様が安心して過ごせる様に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2		2	送迎でバタバタしている。人が足りない？	職員配置基準は満たしておりますが、今後もお子様が安心して過ごせるよう、送迎等工夫してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			2		バリアフリー基準を満たした設備となっております。今後も、お子様にわかりやすいようにイラストや写真を使うなど、情報伝達の配慮に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1		午前・午後と毎日2回清掃と消毒を行い、清潔を保つよう努めております。活動やお子様支援に合わせたスペースを作りに努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12			1	息子の特徴をよくご理解頂き、いつも温かく見守って頂いております。	毎月の研修・ABAの取り組み・専門(PT/ST/歯科衛生士)の助言を頂きながら、お子様の特性に合わせた支援を行っております。今後も丁寧な支援を心掛けてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1		1		今後も、支援プログラムを元に、お子様の支援に合わせた活動内容を作成してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13					事前のアセスメントとお子様の様子を元に、事業所内と保護者様と共に支援計画を作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					児童発達支援ガイドラインに基づき、お子様にあった目標・支援内容を設定し計画を作成しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			1		お子様の成長に配慮しながら、1人1人の目標に沿って支援を行っております。事業所内で共有し、今後も個々に合わせた丁寧な支援を行ってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1		1	様々な活動をして頂き、大変ありがたいです。	5領域の内容に基づき活動を計画しております。季節行事や社会経験等も含みながらお子様が楽しんで成長できる支援に努めてまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	1	自分の保育園や療育以外の子供との交流は無いが今後あったらいいなと思います。	併用先との交流には至りませんでした。他事業所の幼稚園・保育園に通うお子様との交流は行う事ができました。今後は、併用先や地域の方との交流活動などの実施に努めてまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12		1			契約時に説明を行わせていただいておりますが、保護者様へより詳しくご理解いただけるよう、丁寧な説明に努めてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					半年に1度面談を行っております。面談時に支援内容に基づく説明を行う事で、保護者様のニーズ、お子様の成長に沿った支援内容となるよう、今後も取り組んでまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3				ペアレントトレーニングを実施する事ができませんでしたが、保護者様からご要望がありましたら、随時面談をさせていただくと共に、家族会や親子活動で保護者様と情報共有できる場を設けてまいります。

保護者への説明等

15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13				電子連絡帳で写真を添付する事で療育の様子を見ていただくと共に、お迎えの際の申し送り時や親子療育、療育参観を通してお子様の様子を見ていただく機会を設け、保護者様と共通理解をさせていただきました。また、保護者様からご要望があられる際など、必要に応じて電話等にてお子様の様子を共有をさせていただいております。保護者様との共通理解を通して、今後も、丁寧な支援に努めてまいります。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13				半年毎の面談以外でも、保護者様からご相談があられる際は、申し送り時や面談時間を設け、助言させていただけるよう努めております。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1	共感的にご支援して頂いていると感じ、とても心強いです。今後も、保護者様の思いやお子様の思いを事業所内で共有し、お気持ちに沿ってお子様の成長を支えていけるよう支援に努めてまいります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2		2	親子療育やイベント活動の中で、茶話会保護者の方と会う事はありましたが、保護者同士の交流はできませんでした。親子療育やイベント活動の中で、茶話会を実施し、保護者様同士の交流の場を設けてまいりました。法人内の施設イベントでは、ご家族様、ご兄弟児様も含めた交流の場を設けさせていただきました。今後も様々な活動内容を企画し、保護者様同士の交流の場を広げていけるような取り組みを行うと共に、ご兄妹児様も一緒に楽しめるイベント実施も企画してまいります。また、お仕事などでご参加が難しいご家庭に向けた情報交流の場も検討してまいります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		1	今後も、保護者様からの相談やお申入れについて、必要であれば関係機関と連携を図らせていただき、迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				お子様が経験した事など、保護者様との意思疎通に繋がるよう、電子連絡帳にて活動写真のお送りすると共に、活動案内や療育室の壁面に活動風景を掲示しております。今後も保護者様からのご要望に応じて、お子様の様子や思いを共有できるよう努めてまいります。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13				新しいシステムになり、更にタイムリーに情報を頂き、安心して楽しんで頂き有難く思っています。毎月配布している活動予定表及び、通園時の様子につきましては支援計画の目標に沿ったねらい等も記載し、今後もお伝えしてまいります。自己評価の結果につきましては、ホームページにて公表しております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	2			個人情報に関しては書庫にて施設で保管しております。今後とも取り扱いには十分に注意してまいります。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		2	毎月1回、地震と火災の避難訓練を実施しております。年に2回施設全体の避難訓練も実施しております。マニュアルにおきましては、フローチャートを療育室に掲示しております。今後もいざという時に、お子様の安全が守れるよう、必要に応じて訓練の在り方を見直してまいります。
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		3	毎月、地震・火災等の避難訓練を実施しております。その際の避難経路につきましては、お子様に分かりやすく危険予測ができるよう、避難経路場所にイラスト掲示しております。今後も、いざという時の備えとして必要な訓練の実施に努めてまいります。
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			2	安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めてまいります。

非常時等の対応

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		1	親も安心しています。子供も安心しきっていると思います。	事故・怪我が発生した際は、直ちに保護者様へ連絡を行い状況説明をさせていただいております。今後も、お子様と保護者様が安心して通園いただけるよう、努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				・いつも楽しい活動をありがとうございます。親子療育の時は子ども以上にわくわくしています。常に大満足です。 ・とても楽しみにしています。	登園時のお子様の表情は明るく、落ち着いて過ごしております。その日のお子様の情緒面や体調面に配慮しながら、支援させていただいております。今後もお子様が安心して楽しく過ごせる場となるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13				・特にキッキングや外出時、特別な活動は楽しみにしています。 ・大変満足しております。	お子様、お一人お一人に合わせた支援を通して、お子様の笑顔が溢れる支援を行っております。今後も、活動やイベント、お友達との関わりを通して、成長に繋がる支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13					今後も、保護者様のご意向、お子様の意思を十分に受け止め、支援計画の目標に沿った支援に努めてまいります。